

岐阜支部

# ちようちん

2014年6月号

全国障害者問題研究会岐阜支部 〒500-8879 岐阜市徹明通7-13 岐阜県教育会館401

TEL/Fax 058-253-7033 Email zenshouken\_gifu@yahoo.co.jp

## お知らせ もろもろ

### 全障研岐阜支部総会

日時：7月5日(土) 15時～(準備委員会の前)

場所：岐阜大学地域科学部5階心理学実験室

内容：2013年度決算・活動報告

2014年度予算・活動計画 ほか

岐阜県民主教育研究所  
全障研岐阜支部 合同学習会  
「障害のある人とともに」  
日時：6月29日(日) 午後1時～3時半  
場所：岐阜教育会館 4階 会議室  
岐阜県岐阜市徹明通1丁目13  
※この会で、若井がポップコーン福祉会での  
実践を報告いたします。

### 中津川 かがやきキッズクラブ1周年記念企画

日時：6月28日(土)

13時～15時30分

講師：丸山啓史さん(京都教育大学)

場所：中央公民館ホール

中津川市本町2-2-25

(0573-66-4141)

\*障がい児学童保育がスタートして1年目の記念行事です。会終了後、10月12日の全国大会プレ企画(中津川)の実行委員会もを行います。

### 全国大会 in 岐阜 2015

#### 第10回準備委員会のお知らせ

日時：2014年7月5日(土)  
15:30～18:00(予定)

場所：岐阜大学地域科学部5階  
心理学実験室

内容：滋賀大会参加・見学準備 他

## ハル君のお弁当

### ～みたされるのは「お腹」ではなく「心」



可茂特別支援学校 猿渡聡美

ハル君は、高等部3年生。小学部に入学と同時に、学校に隣接している施設にも入所し、それ以来、ずっと施設から学校に通ってきました。

自閉性障害でお話しすることはできません。小さい頃からスキンシップが苦手で、ひらひらと風と戯れているのが好きでした。嫌なことを表したり、意を通そうとするときには、自らの掌をかんだりほっぺや頭を叩いたりしてしまいます。高等部になった頃には、声も大きく力も強くなっていて、泣き叫びながら出血してもなお叩き続けてしまうというパニックをよく起こすようになっていました。

家庭の事情もあって、家庭に帰るのはお盆とお正月くらいでした。

自宅は学校から車で1時間くらいの所にあり、お父さんお母さんは、卒業後、ハル君を自宅に戻したいという気持ちと、いっしょに生活していけるのかという不安とで、なかなか方向を定められないでいました。

入所施設には空きがないという状況もあり、高3になって、家庭から通える所での現場実習に取り組みました。

1泊2日での実習。初日は担任の私が、学校（施設）から作業所まで車で一緒に行き、付き添って作業体験。その日は自宅で1泊して、翌日は自宅から作業所へという計画です。

ハル君が作業所のみんなと同じ仕事で、一緒にやれるということは多くはなく、ちょっと特別対応をしてもらっての実習でした。でも、お茶休憩や昼食はみんなと一緒にとりました。

1日目のお昼は、作業所で仲間が取ってみえるお弁当を頼みました。

普段、学校で給食を食べているハル君は、その量は軽く2人前と言ってもいいほどです。まずは山盛りご飯に、おかずも多目に盛りつけてもらいます。そして、おかわりはご飯とお汁、それぞれ「1杯」。(ハル君に分かりやすくするためです)

食べることには目がないので、とにかく自分の机の上に食事が載ったら待てません。「早く！早く！」と周りの状況には目もくれず要求し、すぐにパンパン！と頭を叩いて怒り出してしまふほどです。(なので、いつも最後に着席するようにします)

そんなハル君が、「みんなと同じ席について、普通の量のお弁当」というのは、ちょっ

とチャレンジです。このお弁当の量では不満だろうな…と、私のお弁当の中のおかずをキープしておきました。案の定、自分のお弁当を食べ終わったハル君の視線は、隣で食べている私のお弁当へ。そして“ちょうだい”の仕草…。ちくわの天ぷらとかまぼこはハル君のおかわりとなりました。



2日目は、自宅からお弁当を持って作業所に来ることになっていました。ところが、ハル君はお弁当を持っていません。一緒に付き添ってみえたお母さんは、「お弁当はまだ作ってないから、お昼に持ってきます」と言って帰って行かれました。

午前中の仕事を、「お母さんのお弁当。楽しみだね～」を励みに頑張りました。12時ちょっと前に、机の上を片付けてみんなでお昼の準備です。

12時になりました。お弁当はまだ届きません。周りのみんなは、お弁当を広げて昼食が始まりました。私は、こんな状況の中ではハル君が怒り出してしまうのではないかと、内心ハラハラしながら一緒に待っていると、10分近く経ってやっとお母さんの姿が！お母さんは車の運転ができません。30分余りかけて歩いてみえたのです。

「遅くなって…」と申し訳なさそうに差し出されたお弁当の包みは、まだ暖かく、そうか！わざわざ一度帰られたのは、暖かいお弁当を食べさせたかったからだ、と思いました。でも、私は次の心配をしていました。「これじゃあ、全然足りないよ…」と。そのお弁当は、女子高生用というようなカワイイ大きさだったのです。

待ち構えていたハル君は、「いいねえ。暖かいねえ。」という私の言葉に、箸を持った手で“うん。うん。”と応えながら、暖かいけれど、決して豪華ではない普通のお弁当を完食しました。隣の私のお弁当包みの中には、キープされたおにぎりがありましたが、ハル君はこちらをチラ見することもなく、不満そうなそぶりもなく、私と一緒にお弁当箱を片付けて昼食を終えました。

その昼休み、日だまりで戯れるハル君の、本当に幸せそうな微笑みが忘れられません。

ハル君が、日頃給食を食べても食べても、まだ欲しそうにするのは、お腹が満たされないからではなく、心が充たされないからだと確信しました。そんなハル君への思いを、暖かいお弁当に託したお母さんのことも思うと、私は、卒業後は必ず家庭に戻れるようにしたい、戻るべきだと強く思いました。

\*ハル君は、その後、家庭ぐるみで支援していただける地域の団体とつながり、家庭に戻っていくことができました。“学校はハル君に対して何もしてあげられなかった”という思いから、私は卒業後のハル君に会いに行けないでいます。

## アパート暮らしに挑戦！ —仲間の夢、一人暮らしを実現したい！—

（中津川市・社会福祉法人ひがし福祉会）  
障害者地域支援センター“結”<sup>ゆい</sup> 職員



洗濯機の水もれがあって大変やった。

電気がとんだ。

わたしの時はっかいろいろおきる。

世話人さんに連絡したらきてくれてなおった。

真っ暗になったもんで懐中電灯がいる。

お風呂のふたがない。

Sさん

1日目はねれなかった。

2日目からはねれた。

雨がふった時ほすところがないのでこまる。

2月の練習の時、外食が2回あるんやけどお金は食費の中から出すのかどうしたらいいかなあ。

Iさん

（やすみのひは）たいくつでした。

グループホームから食材をもってきてくれた。

トイレがさむい。

あったかくしてよ。

Mさん

今年の1月からグループホーム近くのアパートの一室を法人契約で借りて、一人暮らしを希望する3人の仲間が、アパート暮らしの練習を始めました。これは、その時の綴り方です。1月は、1人6日間、2月は、1人9日間ずつ、3月は、Sさんが、1ヶ月間アパートで一人暮らしを体験しました。

### 新制度を活用して

平成26年度、制度改正により、今までのケアホーム事業が大きく変わり、グループホーム事業と一元化され、（今まではケアホーム事業）一人暮らしを目指す人が利用できる「サテライト型住居」という新しいサービスができました。現在、Sさんはこの新しいサテライト型住居というサービスを活用して、アパートでの一人暮らしに取り組んでいます。

私たち職員もまだまだ分からない点も多い制度なため、一緒に勉強しながらすすめて

います。

アパート暮らしの練習開始当初は、1週間に1回、この4月からは月に2回のペースで、3人の仲間とアパートで、一人暮らしに向けての学習をしています。

学習内容としては、アパートの見つけ方、契約や家賃のこと、隣近所付き合いから、食生活、健康管理、給料と生活に必要なお金、家計簿のつけ方、金融機関の利用の仕方、火の用心や水漏れに注意、ごみ捨てなどなど暮らしのすべてについてです。『自立生活ハンドブック』を使って意見を出し合ったり、実際にお金をおろし、1ヶ月の生活費を食費と小遣いの封筒にわけたり、出納帳をつけて、お金の使い方を考えたりしています。

つい最近、新聞の勧誘で断りきれず、1ヶ月間とることにしたSさん。いろんな経験（失敗も含め）をしながら一人暮らしの実現を丁寧に支援していきたいと思います。

## 仲間の思い “夢”

ちょうど1年前に、初めてケアホーム利用の就労者の自立会議を開き、7人の仲間一人ひとりに自立への思い、自立した姿とは、どういうことが大事か、何が必要かなどを聞きました。みんな基本的には、自立したいと思っていることがわかりました。しかし、不安がある、いずれはしたいけど経験が少ない、アパートを借りるといっても簡単には貸してもらえない…。まだまだ勉強が必要だということで、ひとつのケアホームを“自立するホーム”に位置づけ、1年勉強して「ケアホームから卒業してアパートで一人暮らしに挑戦してほしい」と話しました。

昨年4月、他のケアホームから“自立するホーム”へ移動したSさんは、世話人さんとの別れに心が揺れて、毎日泣いていました。そんなSさんが、一人暮らしの寂しさに耐えられるだろうかと心配しながら始めた一人暮らしの練習でしたが、「楽しいよ、喧嘩しんでもいいで。」「私も寂しいかなあと思ったけど。昔、家におる頃、お母ちゃんが入院してお父ちゃんと二人だけになった時、悲しくて毎日泣いとったけど…全然ちがうよ。」「夜、外でガチャン！て物音がしたもんで怖くて布団かぶって早く寝た。次の日見たらポストにチラシが入とった。」など一人暮らしの様子をいろいろ話してくれます。職員が訪ねて行くと「しょうがないなあ、漬け物作っておいたで、出したるわー。」とお茶や漬け物でやさしくもてなしてくれることも。

今は「グループホームの近くのアパートを借りて、みんなが寄ってくれるような暮らしがしたい。」と夢を語るまでになったSさん。

グループホームが終の棲家ではなく、仲間の人生“自分の人生は自分で決める”の選択肢を広げ、人としての当たり前夢に向かっていけるよう、背中を押して応援したいと思います。サテライト型住居は、3年間利用できますが、Sさんは、1年後の一人暮らしを目指しています。Sさんの実践がモデルになって、Iさん、Mさんが続き、障害のある人がふつうに暮らせる地域づくりを進めていきたいと思います。



## 発達の魅力にとりつかれ（後編）

笹田トヨ子

### ・健太君の就学運動

滋賀県彦根管内を発達相談で回っていると、どうしても我まち大垣の実態が気になるのですが、滋賀県の発達保障の現状と比べると岐阜県の後進性ははっきりしており、特に西濃地域は遅れていました。その頃、重度障がいの日比健太くんがはだしっこ保育園に入園してきて、お母さんは集団保育の中での健ちゃんの変化に手応えを感じていました。いよいよ入学する時期になったとき、岐阜県では肢体不自由児の受け入れは関養護学校しかなく、自宅から2時間も掛かる通学は無理で、訪問教育か寄宿舎しか選択肢がない状態でした。滋賀県はそれぞれの地域に知的障害も肢体不自由の子供さんも受け入れる教育体制ができており、自宅通学ができました。一方岐阜県は希望ヶ丘も関養護も中央部に集中しており、周辺部の地域では訪問教育を受けている子どもさんが沢山いました。

健ちゃんのお母さんは自宅から通学できる大垣養護学校に入学させたいと、重症心身障害児の大垣養護への就学運動がおきました。このとき全障研岐阜支部の皆さんの全面的な応援があり、実現することになりました。

### ・子どもの発達から地域社会の進歩へ

その後、私の仕事も彦根から名古屋市や岐阜県内に移動し、名古屋の天白保健所や緑保健所、多治見市、中津川市、岐阜市、本巣市、安八町、上石津町と大垣市以外の自治体で発達相談を行なっていました。大垣市の障害乳幼児の早期発見・早期対応のシステムがどうなっているか気になりましたが接点が持てずいました。

平成15年、ひよんな事から大垣市議会選挙に当選し、私の関心ごととも人の発達から地域社会の進歩に向け、軸足を移すことになりました。議員になって当初はあらゆる分野に関わることになり、乳幼児健診や療育について頭の片隅に置きながらも手をつけることはできませんでした。議員3期目になってはじめて一般質問で、「発達相談を取り入れた障害乳幼児の早期発見・早期対応」についてとりあげましたが、私が意図したことは十分には受け入れられませんでした。

40年前、大垣の保育が林町共同保育所の存在で変わってきたように、障害乳幼児の療育についても、実践的に証明できる拠点が必要であると痛切に感じているところです。

6月14日（土）、第9回準備委員会が開かれました。そこで報告・検討された内容の中で、主だったものをお知らせいたします。

### ☆記念Tシャツを着て、滋賀大会にみんなで参加しましょう！

みんなで着ていくTシャツの色は、FC岐阜のテーマカラーのような深みのあるグリーンになりました。デザインは、児童デイサービス「かみなりくん」に通う山口悠介君のイラストを使用した、かわいらしいイメージです。今回は、東濃特別支援学校の作業として、生徒さんにプリントをお願いすることになりました。Tシャツ購入の申し込みは、岐阜支部事務局まで。（S、M、Lあります。価格は未定。1,000円弱か）



また、準備委員会で大会参加を呼びかけたところ、10数名の準備委員がその場で申込書を提出してくれました。宿は、「⑩アーバンホテル南草津」にみんなで泊まることにしました。全国大会の空気を感じ、岐阜大会に生かすためにも、ぜひご参加ください。

### ☆JR岐阜駅や岐阜市内の交通アクセスを改善するためのアンケート実施！

岐阜での大会開催を機に、多くの方の意見や要望をまとめて、JR岐阜駅をはじめとする公共施設や道路管理者などに申し入れをしていく取り組みを始めます。交通アクセスの改善は、大会当日のためだけではなく、移動に困難を抱える人たちの日常的な要求です。

一人でも多くの方の思いを形にするために、みなさんもアンケート運動にご協力ください。事務局にお知らせくだされば、岐阜市の交通アクセスにおいて困難を感じた経験を答えていただくアンケート用紙を、お送りいたします。

### ☆県や市の機関から、後援を受けられることになりました！

岐阜県・岐阜県教育委員会・岐阜県社会福祉協議会  
岐阜市・岐阜市教育委員会・岐阜市社会福祉協議会  
から後援許可が得られました。

### ☆新しいフシ企画の案がどんどん出ています。

これまでの計画に加えて、

第7弾（岐阜）12月14日（日）10:00～16:00 岐阜駅ハートフルGにて

「障がいのある人の生と性、子離れ親離れ」

第8弾 ※教職員組合の先生方が中心となって企画する、という案が出ています

### ☆準備委員会の日程

○第10回 7月5日（土） ○第11回 8月2日（土） ○第12回 9月6日（土）

※すべて、岐阜大学地域科学部5階心理学実験室にて、15時より

# くさの実日記 ③

トタトタという足音や振動が  
喜ぶRちゃん。

赤ちゃんが泣くと「ニマ〜」  
と笑うので。

「赤ちゃんが泣いている  
時に笑うと、嫌ね  
ちゃん」と言うし。

Rちゃんのお母さんいね。

「おの赤ちゃんの泣き声  
でしか笑わないよ。

「オオオとRも泣い  
ちゃうことがある」  
とのこと。

ちがいのあか子 オニT Part1



でも、小けた茶色のつぼみ  
ができます。

むりょうこうじ ともみ